

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】令和6年11月26日(2024.11.26)

【国際公開番号】WO2024/062836
 【出願番号】特願2024-548149(P2024-548149)

【国際特許分類】

B 6 0 W 1 0 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

B 6 0 W 1 0 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

F 1 6 D 4 8 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【F I】

B 6 0 W 1 0 / 0 0 1 0 2

B 6 0 W 1 0 / 0 2

B 6 0 W 1 0 / 0 8

F 1 6 D 4 8 / 0 6 1 0 2

F 1 6 D 2 8 / 0 0 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月11日(2024.9.11)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

車両(99)の駆動を制御する車両制御システムであって、
 駆動源(15)と、

前記駆動源から駆動輪(11)に至る動力伝達経路に設けられ、動力伝達の断接を切り
 替え可能なクラッチ(31、32)と、

前記クラッチを駆動するクラッチアクチュエータ(35)と、

30

前記駆動源および前記クラッチアクチュエータの駆動を制御する制御部(50)と、
 を備え、

前記クラッチと前記駆動輪との間には、回転方向に対して傾斜して噛み合う箇所が少な
 くとも1箇所に設けられており、

前記制御部は、前記クラッチを解放状態から係合状態に切り替え、前記駆動源からの駆
 動力を入力する過渡トルク入力時において、前記クラッチの係合に要する荷重より大きな
 荷重が発生するように、前記クラッチアクチュエータを制御し、出力側の遊びを詰めるガ
 タ詰めが完了した場合、荷重を減少させて前記クラッチを係合保持状態とした後、前記駆
 動源を駆動してトルクを発生させる車両制御システム。

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第1の態様では、クラッチと駆動輪との間には、回転方向に対して傾斜して噛み合う箇
 所が少なくとも1箇所に設けられている。制御部は、クラッチを解放状態から係合状態に
 切り替え、駆動源からの駆動力を入力する過渡トルク入力時において、クラッチの係合に
 要する荷重より大きな荷重が発生するように、クラッチアクチュエータを制御し、出力側
 の遊びを詰めるガタ詰めが完了した場合、荷重を減少させてクラッチを係合保持状態とし

50

た後、駆動源を駆動してトルクを発生させる。

10

20

30

40

50